

【LANポートバックアップ】

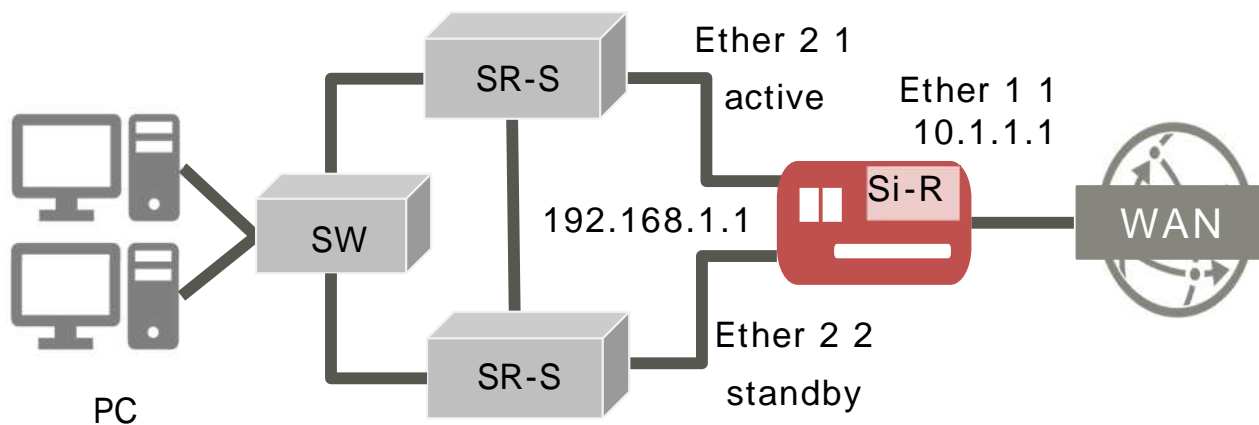
Si-RのLANポートバックアップ機能を使用して、SWと接続するケーブルを冗長化する接続です。

【対象機種と版数】

Si-R Gシリーズ V20.50以降

【設定内容】

- ・ ether 2 1をactive、 ether 2 2をstandbyにします。
- ・ Si-RのWAN側に10.1.1.1/24を割り当てるとします。
- ・ Si-RのLAN側に192.168.1.1/24を割り当てるとします。



[設定]

以下の設定例を、コピー&ペーストでご利用いただくことができます。

Si-R設定

```
ether 1 1 vlan untag 1
ether 2 1-4 vlan untag 2
ether 2 1 type backup 1 master
ether 2 2 type backup 1 backup
lan 0 ip address 10.1.1.1/24 3
lan 0 vlan 1
lan 1 ip address 192.168.1.1/24 3
lan 1 vlan 2
syslog facility 23
time zone 0900
consoleinfo autologout 8h
telnetinfo autologout 5m
terminal charset SJIS
```

[解説]

Si-R設定解説

```
ether 1 1 vlan untag 1
```

ether 1 1 インタフェースにVLAN1を割り当てます。

```
ether 2 1-4 vlan untag 2
```

Ether 2 1-4 インタフェースにVLAN2を割り当てます。

```
ether 2 1 type backup 1 master
```

ether 2 1 をマスタポートバックアップポート（グループ1）のマスタポートに設定します。

```
ether 2 2 type backup 1 backup
```

ether 2 2 をマスタポートバックアップポート（グループ1）のバックアップポートに設定します。

```
lan 0 ip address 10.1.1.1/24 3
```

LAN0側にIPアドレスを設定します。

- ・ 10.1.1.1/24 : lan0 IPアドレス/マスクです。
- ・ 3 : ブロードキャストアドレスのタイプです。通常は3で構いません。

```
lan 0 vlan 1
```

VLAN ID とlan 定義番号の関連付けを行います。

```
lan 1 ip address 192.168.1.1/24 3
```

LAN1側にIPアドレスを設定します。

- ・ 192.168.1.1/24 : lan1 IPアドレス/マスクです。
- ・ 3 : ブロードキャストアドレスのタイプです。通常は3で構いません。

```
lan 1 vlan 2
```

VLAN ID とlan 定義番号の関連付けを行います。

```
syslog facility 23
```

システムログ情報の出力対象ファシリティの設定をします。通常はこの値で構いません。

```
time zone 0900
```

タイムゾーンを設定します。通常はこのままで構いません。

```
consoleinfo autologout 8h
```

```
telnetinfo autologout 5m
```

シリアルコンソール、TELNETコネクションの入出力がない場合のコネクション切断時間を設定します。

```
terminal charset SJIS
```

ターミナルで使用する漢字コードをShift JISコードに設定します。